

| 会議等結果報告書 | | | |
|----------|--|------|-----------|
| 会議区分 | 会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議 | 文書番号 | 1 2 3 |
| | | 決裁期日 | 令和2年7月10日 |
| 名 称 | 第1回上富良野町協働のまちづくり推進委員会 | | |
| 日 時 | 令和2年7月7日（火） 午後6時30分～午後7時30分 | | |
| 場 所 | 役場3階 第2会議室 | | |
| 出席者 | 協働のまちづくり推進委員9人（別紙名簿のとおり） 向山町長 事務局：町民生活課 星野課長、自治推進班 新井主幹、佐藤根主事 合計13名 | | |

[進行：事務局（町民生活課長）]

◎委嘱状交付

向山町長から、委員9名に委嘱状を交付。

◎町長あいさつ

今期1回目の協働のまちづくり推進委員会に出席いただき感謝申し上げます。先ほど委員の皆様へ委嘱状を交付させていただいた。

1月以降新型コロナウイルス感染症対策に伴い、本町も大変変動的な行政運用をしているところである。さまざまな諸障害が発生しているが、徐々に人の動きがみられるような段階で現在進んでいる。こういう時こそまさしく町民ワンチームとなってまちづくりに取り組むことが次の時代を作っていくことになると改めて感じ、協働のまちづくりが大切な役割を担うことに期待しているところである。平成21年から協働のまちづくり事業が始まり、委員の皆様におかれましては、第6期目のまちづくり委員として担っていただくことになった。地方分権が進んで以来まちづくりにあたっては、自己決定と自己責任が大きく掲げられている。町においても平成21年に自治基本条例を制定し、平成23年からは協働のまちづくり推進委員会が活動しているところである。皆様がこれからさまざまな形でお示しいただく将来のまちづくりを、最大限尊重して新しい時代に向けたまちづくりを町民一丸となって取り組む、町の基礎を作っていきたいと考えている。

これから大変ご協力を賜りますが、2年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

※用務の為、あいさつ終了後町長退席

◎自己紹介

各委員から自己紹介を行う。また、事務局の職員を紹介。

1 説明等

(1) 協働のまちづくり推進委員会について

- ① 上富良野町協働のまちづくり推進委員会設置要綱
- ② 上富良野町協働のまちづくり推進委員会の経過

(2) 協働のまちづくり推進補助金について

(3) 上富良野町自治基本条例について

事務局（新井主幹）より資料1～7について一括で説明。今期1回目の委員会であることから、委員会の目的や活動の経過などを説明した。

そのほかにも、推進補助金の平成31年度実施状況を説明。

自治基本条例については、平成31年度に第8条の改正が行われたことが説明された。

2 議 題

(1) 会長・副会長の選出について

事務局（星野課長）より役員を選出について説明。委員から事務局に一任されたことから案として、会長に住民会長連合会の前田満氏、副会長に上富良野町女性連絡協議会の水島睦子氏を提案し、承認を受けた。

[進行：前田会長]

(2) 今年度の予定について

- ① 会議の進め方について
- ② 協議予定事項について

事務局（新井主幹）より資料8・9について説明。今年度の協議予定事項について、補助金ができてから3年が経過した協働のまちづくり推進補助金の検証・見直しと、協働を推進するための施策について検討を予定。このほか、協働のまちづくり概要版の見直しについて、昨年未 completion だったリーフレットについて協議し、完成を目指すことを説明。各委員からの提案された事項についても随時検討することとし、検討事項については事務局に知らせていただくよう説明した。

【委員会で協議する内容について】

前田会長： 協働のまちづくり推進補助金の検証と見直しとなっているが、内容の見直しをするのか、補助金を拡充あるいは縮小していくのか方針は決まっているのか。

新井主幹： 方針は具体的には決めていないので、委員の皆さんの意見を聞きながらこの補助金の今後のあり方を検討していきたいと考えている。

北條委員： 今年度は新型コロナウイルスの関係で事業はほとんどやっていないと思うが、補助金は何か事業を行ったら支出するということか。今年のような状況だったら何かを行うといってもコロナ対策をしなければならないので難しいが、それらも含めた中の協議をするということか。

新井主幹： この補助金については、来年以降も継続して行う補助金となるため、長期的に考えて協議のほどをお願いしたい。

(3) 平成31年度まちづくり事業について

事務局（佐藤根主事）より説明。今年度もまちづくり事業として「まちづくりフォーラム」を2回実施予定であるが、この新型コロナウイルスの感染拡大防止対策の関係で、昨年度行ったようなグループ討論などの形で行うのは難しいところではあるが、講演会のような形で行う

か、昨年度と同じとはいかなくとも似たような形で行うか、皆さんで検討をお願いしたい。

(4) その他

吉河委員：参考までに、社会福祉協議会では今月からホットカフェ等をやる予定となっている。

かみん自体の利用は大ホールで最大およそ60人となっており、コロナ対策等準備は実際にしているところであり、7月中に行う事業については飛沫感染防止のしきりを入れたりして実施するという流れになっている。まちづくりフォーラムについてはリモートで行うなど時代が変わってきていて、北海道の新しい生活スタイルを含めて、集まる機会を作っていく流れになっているので難しいところもあるが、方法を見出したなかで人数的に考えていけば、かみんや公民館も含めて行う方法があるのではないかと。

前田会長：コロナの感染対策は終わりが見えないが、コロナ対策も含めてできるかぎりまちづくりフォーラムも皆さんと検討していけたらと思っている。

柴田委員：パンフレットについて、全員で話合うのではなく数人で集まって、他の自治体のもも参考にしながら作り、皆さんの意見を聞こうかというときに、昨年度最後の会議も中止となってしまい完成できなかった。皆さんの中で協働とはどういうものかパッとみて分かるような資料を作っていく上では、今期のこのメンバーは初めての方もいてすごく良いと思っている。

前田会長：協働とは何かと堅苦しく考えると難しいと思っていたが、意外とふだんやることが協働なのではないかと感じた。住民会の中での活動、たとえば住民会で集まり会館の掃除をするなど、身近なことがまさに協働なのではないかと。

3 その他

次回会議について

次回会議については 8月25日（火）18時30分から 役場3階第2会議室を予定。

【会議録は決裁終了後、行政ホームページに公開】